



富樫小学校

所在地：金沢市山科3丁目6番60号

電話：076-243-2533 FAX：076-243-2534

HPアドレス：<http://www.kanazawa-city.ed.jp/togashi-e/>

校長名：濱田 昌博

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
児童数	91	93	90	85	89	68	3	519
学級数	3	3	3	3	3	2	2	19

	校長	教頭	教諭等							養護	事務	校務	他	合計	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学						他
職員数	1	1	3	3	3	3	3	2	2	4	1	2	1	5	34

1 平成22年度学力向上の取組内容の検証

(1) 国語科に関して

- 書く力を育てる

ワークシートの活用やノート指導を通して、自他の考えを比較しながら、文や図でまとめることができようになってきた。

学習課題を明確にし、考えを持たせ、記述したり説明できるように時間を保障してきた結果、自分の考えを表出できるようになってきた。しかし、論理的に説明したり、記述したりする力は十分ではない。

(2) 社会科に関して

- 資料の活用力を高める

授業には絵や写真、映像資料等を積極的に活用することで、具体的なイメージを持ち、自分の考えを深めるように努めてきた。その結果、児童の社会科に対する興味や関心が高まりつつある。

(3) 算数科に関して

- 論理的に考える力を高める

自他の考えや解決方法を文章や図で表したり、それらを活用しながら他に説明できるように時間を十分保障してきた。特に、少人数の授業では、自分の考えを意欲的に表出しようとする子がふえてきた。

(4) 理科に関して

- 観察・実験の技能を高める

十分な観察・実験の時間と器具を確保し、学習内容、目的に応じた学習形態を工夫することにより、観察・実験の技能や関心・意欲が高まりつつある。

- 思考力や表現力を高める

観察・実験の視点を明確にするとともに、分かったことや疑問など自分の考えを図や表でまとめる活動を多く取り入れてきた。その結果、知識・理解の定着が進みつつある。

(5) その他の取組

- 授業改善を図る

各校内研究会等、OJT体制を充実させてきた。とりわけ実技講座の充実を図り、実践力の向上に効果があった。また、校内研を通して学習の内容やめあてが適切であるか検証を進めてきた。その結果、適切な学習問題が設定できるようになってきた。

- 学習の定着を図る

学習の習慣化に向け、学校だより、学年、学級懇談等の場を活用し、自主学習(15分×学年)の習慣化を図ってきた。その結果、保護者アンケートからは改善が進んでいることが明らかになった。

2 学力等の現状分析

(1) 県基礎学力調査から

- ・ 国語科について
 - 段落相互の関係を考え、文章を正しく読んだり、文章を構成したりすることは定着している。
 - 漢字を書いたり、ローマ字を読んだりすることは概ね良好である。
 - 全体的に概ね良好であるが、さらに基礎・基本の定着に向け、辞書の活用や新出、既習を問わず、語句や漢字の習得等、日常的な指導の継続が必要である。
- ・ 社会科について
 - 昨年と同様、地図帳を活用し、我が国と世界との位置関係を問う問題に課題がある。
 - 情報を伝えるものの特色を理解し、情報の活用の仕方について考える問題に課題がある。
- ・ 算数科について
 - 全体的に良好であるが、とりわけ数直線を読み取ること、棒グラフをかいたりすることは良く定着している。
- ・ 理科について
 - メダカの卵の大きさを問う問題や、関節の働きと名称の理解をみる問題等、生命・地球の分野に課題が見られる。
 - 電磁石に関する問題や水が凍ったときの変化を問う問題等、物質・エネルギーの分野は比較的良好である。
- ・ 質問紙から
 - 家庭学習の定着の改善が進んでいる。

3 学力向上の取組

- (1) 国語科に関して
 - ・ 書く力を育てる
 - 学習課題を明確にし、自分の考えを明確にしたうえで、自他の考えを比較したり文や図でまとめたりすることにより、論理的に説明したり、記述したりする力を育てる。
- (2) 社会科に関して
 - ・ 資料の活用力を高める
 - 授業には絵や写真、映像資料等を積極的に活用することで、具体的なイメージを持ち、自分の考えを深めるようする。また、教室内に日本地図や世界地図を常時掲示し、意図的に日本や世界との関係に注意を喚起し、地理的な事象に関心を持つようにする。
- (3) 算数科について
 - ・ 論理的に考える力を高める
 - 自他の考えや解決方法を文や図で表したり、それらを活用し他に説明できるようにする。そのためにグループやペア学習を取り入れ、自分たちの考えを表出したりまとめたりできるようにする。
- (4) 理科に関して
 - ・ 観察・実験の技能を高める
 - 十分な観察・実験の時間と器具を確保し、学習内容、目的に応じた学習形態を工夫する。
 - ・ 思考力や表現力を高める
 - 観察・実験の視点を明確にするとともに、分かったことや疑問など自分の考えを図や表でまとめる活動を多く取り入れ、既習の定着を図る。

4 その他の取組

- (1) 授業改善を図る
 - ・ 各種校内研究会等、OJT体制を充実させる。とくに各自得意な分野における実技講座を率先して行うようにする。
 - ・ 学習の内容やめあてを明確にし、適切な学習問題を設定する。
- (2) 学習の定着を図る
 - ・ あらゆる教科や活動において、学習後のふり返りを充実させる。
 - ・ 様々な機会を通して、地図や辞書を活用する習慣を身につける。
 - ・ 家庭と連携し、自主学習(15分×学年)の習慣化をさらに進める。